

第1章

イノシシ/シカ/サル/カラス/スズメに効果あり

動物にできるだけやさしい撃退機を作る

漆谷 正義

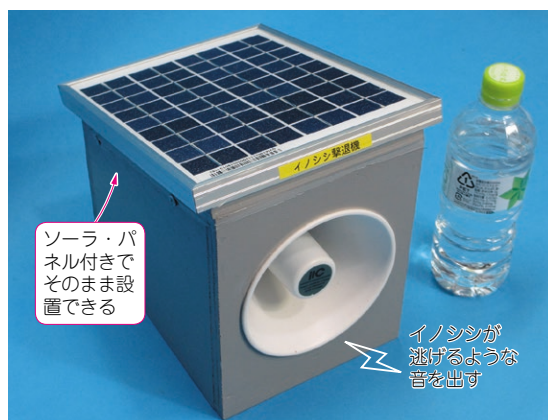


写真1 できるだけ動物にやさしい音声イノシシ撃退機
ソーラ・パネル型、リアル出荷台数1200台超

キッカケ

● 動物は学習する

イノシシ、シカなどによる農作物の被害は、過疎地ほど激しく、農業従事者の高齢化とあまって、事業縮小だけでなく、耕作放棄（農業からの撤退）も少なからず起きています。



図1 音で追い払うアイデアは昔からあるがイノシシが学習してしまう難点があった

害獣に対しては、電気柵や金網など種々の対策が講じられています。このうち、音声を利用した害獣駆除は、ラジオを鳴らす、爆竹音を出すなどがあります。しかし、効果が今ひとつで、害獣が学習してしまうのが難点でした（図1）。そこで写真1の最新型の「イノシシ撃退機」を作りました。イノシシを直接攻撃せずに撃退できる、動物にできるだけ(?)やさしい装置です（図2）。

● ホンネ…若手エンジニア個人のやる気になれば

筆者は、地域の農家の協力で、害獣が苦しむ声を使った害獣駆除装置を開発・製作し、多数の農家の方に効果を確認していただきました。苦渋音だと害獣の学習効果も小さく、90%以上のユーザから「効果あり」と判断され、現在では、老後のライフワークとして同装置を製作・販売しています。

商売といっても、元手もなく、企画、設計、製造、販売を、全て1人でやっているの、製造の工夫や顧客対応、経理、お金の工面などの雑知識と馬力が必要です。このような経験は、個人で起業したいと考えておられる若いエンジニアの参考になるのではないかと思います。

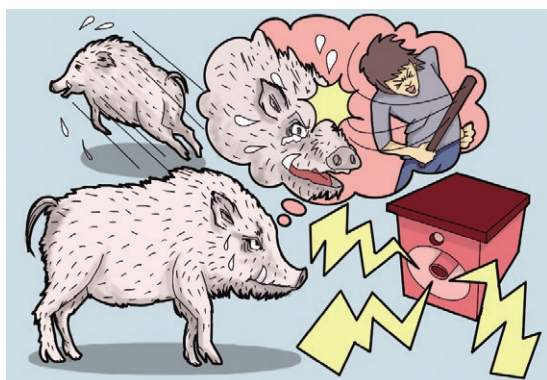


図2 新作（写真1）はイノシシが捕獲を警戒していつも逃げてくれる